

令和6年度 事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
特定非営利活動法人ぽんぽん船

・第1回理事会

開催年月日

令和6年5月17日（金）

開催場所

障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
8名（うち表決委任者0名）／理事人数8名

出席理事

議決事項の概要

- ・令和5年度事業報告及び決算について
- ・令和6年度事業計画及び予算（案）について
- ・役員改選について
- ・工賃変動積立金の取り崩しについて
- ・指定障がい福祉サービス事業 就労継続支援B型 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船 運営規程の一部改正について
- ・特定非営利活動法人ぽんぽん船 ハラスメント防止規程の一部改正について

・通常総会

開催年月日

令和6年5月25日（土）

開催場所

障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
46名（うち表決委任者30名）／会員総数48名

出席会員

議決事項の概要

- ・令和5年度事業報告及び決算について
- ・令和6年度事業計画及び予算（案）について
- ・役員の選任について

・第2回理事会

開催年月日

令和6年6月1日（月）

開催場所

障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
8名（うち表決委任者1名）／理事人数9名

出席理事

議決事項の概要

- ・正副理事長の選任について
- ・障がい者自立支援事業所ぽんぽん船運営委員の選出について
- ・ブラインドの交換について

・第3回理事会

開催年月日

令和6年10月25日（金）

開催場所

障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
7名（うち表決委任者2名）／理事人数9名

出席理事

議決事項の概要

- ・障がい者自立支援事業所ぽんぽん船 指定特定・指定障がい児相談業者運営規程の一部改正について
- ・基金の取り崩しについて
- ・積立金の積み立てについて
- ・最低賃金改正に伴う職員給与の見直しについて
- ・特定非営利活動法人ぽんぽん船 給与規程の一部改正について

・第4回理事会

開催年月日

令和7年3月27日（木）

開催場所

障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
9名（うち表決委任者0名）／理事人数9名

出席理事

議決事項の概要

- ・特定非営利活動法人ぽんぽん船 給与規程の一部改正について
- ・令和7年度事業計画及び活動予算（案）について

1 事業の成果

「障がい者自立支援事業を中心に、障がいのある方の自立した日常生活、社会生活の支援を行い、ノーマライゼーションの町づくりを推進する」という本法人の目的に沿い、下記事業を実施した。

①【障がい福祉サービス事業】 就労継続支援B型

障がい者の就労支援として、日中活動の場・就職に向けての総合的な訓練の場となるよう、個々に合った働き方を提供していくため、事業所の中での作業だけではなく、外部との関わりも大切にしながら、地域の企業や農業関係者等と連携して、多様な職種に取り組んできた。利用者一人一人の力を發揮し、やりがいや工賃アップにつながるよう、作業量・作業収益の確保に努めてきた。

[菓子製造]

型から手作りのオリジナルクッキーとフードプリンターによるプリントクッキー、両方を組み合わせてのクッキー等、デザイン・予算とともに、顧客のニーズにあった商品を提案・提供することで、常連客の他、新規の注文も増加し続けている。プリントクッキーが周知されたことで、客層がさらに拡がっている。

個別注文の他、10店舗で販売しているが、店舗ごとの売上状況を把握し、欠品のないよう計画的に製造・納品することで、商品のロスを省くとともに、季節にあった商品を置くことで売り上げを伸ばし、安定した収入につなげていくことができた。

また、ここ数年、就職等によりクッキー作業に従事する利用者が減少してきたため、飾りつけや袋詰めの作業能率がアップするよう、作業工程の見直しや技術指導に力を入れたことで、利用者が力をつけ、スピードアップや量産につながっている。できる作業が増えて自信につながると同時に時給もアップし、利用者の励みとなっている。

菓子製造に従事する利用者は減ったが、ほぼ例年並みの収益を得ることができ、工賃向上につなげることができた。

[農作業（農福連携事業）]

平成25年度から3年間、島根県「障がい福祉と農業との連携促進事業（農福連携事業）」の中の「障がい者に適した作業改善、就労形態の実証研究」として、島根県農業技術センターにおいてモデル事業を実施してきた。この実証研究の一環として、平成27年度より地域の農家と契約をし、ぶどうハウスでの作業を実施してきた。平成27年度は1軒の農家での実施であったが、丁寧で正確な作業が評価され、平成28年度は4軒、平成29年度は6軒、平成30年度は7軒、令和元年度は7軒、令和2年度は8軒、令和3年度は7軒、令和4年度は6軒、令和5年度は9軒のぶどう農家で作業に取り組んできた。

就職等による利用者の減少から、ぶどう作業ができる利用者が1名になったため、作業を縮小し、令和6年度は2軒のぶどう農家で作業に取り組んだ。長年の取り組みで技術が向上し、農家からの信頼や期待が高まることが、利用者の自信や励みにつながっている。

今後も利用者の増加が見込めず、クッキー作業と調整しながらぶどう作業を行う状況が続くようであれば、作業バランス、利用者や職員の負担を考慮し、引き続き、縮小してぶどう作業に取り組んでいく方向である。

[清掃業務]

出雲市より、田儀農村広場・シーサイド公園・多伎体育館のトイレ清掃業務を継続して請負い、年間を通しての安定した作業となっている。

施設外に出かけていくことで気分転換にもなり、地域の方と関わること、公共施設を任せられているという責任感や適度な緊張感をもちらながら作業を行うことで、社会の中で働く力を身につけていく訓練の場にもなっている。

[請負作業]

(株)ナカバヤシ、(株)かみありづき、(株)河内の内職作業の他、地域のいちじく農家の箱折り作業等、複数の作業に取り組んだ。(株)河内の作業は、確実にできる方がおられなくなつたため、年度途中で中止する。また、(株)かみありづきが閉業するにあたり、(株)エスティックと(株)原寿園から作業を請負い実施した。不定期ではあるが、出雲市の宛名シール貼り・封入作業にも取り組んだ。

どの作業も、治工具等を工夫することで、より多くの利用者が作業に関わることができた。作業工程を分解して、みんなで協力して効率よく進めることができ、確実・丁寧な作業を評価され、安定した作業量を確保できている。また、請負作業を行う利用者が増えたこと、作業単価が上がったことで、収入増となっている。

[アルミ缶リサイクル]

地域住民をはじめとし、(株)多伎振興・(株)三笠産業等、地域の企業のみなさまのご協力により、継続してアルミ缶をリサイクルすることができた。

アルミ缶の回収量は横ばいだが、缶の引取り価格が高いまま安定していることで、工賃向上につなげることができた。

②【相談支援事業】 指定特定・指定障がい児相談支援事業

障害福祉サービス等を利用しながら、自宅での安定した地域生活が継続できるよう、本人のニーズをもとに関係機関と連携し、社会資源等の調整を行う等、相談支援事業に取り組んできた。旧出雲市・大社町の障がい児5名と、町内の障がい者1名の相談支援を担当してきた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者的人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額単位(千円)
①障がい福祉サービス事業	就労継続支援B型	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	5名	16名	35,732
②相談支援事業	指定特定相談支援事業	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	1名	6名	1,055